

## 自衛隊機トラブルの原因究明と早期に那覇空港滑走路増設事業の完成を求める意見書

本年1月30日午後1時頃、那覇空港の滑走路で、航空自衛隊那覇基地所属のF-15戦闘機のタイヤが外れるトラブルが発生した。

そのために、滑走路が約1時間50分にわたり閉鎖され、民間航空機が目的地の変更や遅延、欠航を余儀なくされ、少なくとも40便、乗客8400人以上が影響を受けたとされており、沖縄県民ならびに観光経済関連業界にも大きな損失を与えている。

近年、那覇空港は乗降客数や発着回数が増加しており、1本の滑走路で運用する空港では福岡空港に次ぐ過密な状況であり、早急な安全対策が必要とされている中で、現在那覇空港滑走路増設事業が進められている。

那覇空港の滑走路が1本から2本に増設されることは「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会」の開催を見据え、沖縄県のリーディング産業である観光関連産業の活性化に寄与するだけでなく、空港で発生し得る事故やトラブルの軽減と過密状況の解消に繋がることも大きく期待されている。

また近年、急激に南西方面のスクランブル発進が増加する中での、滑走路閉鎖は国民、県民を守る国防の観点からも緊急時に対応出来ない状況を早急に改善すべきと考える。

よって、本市議会は、県民や観光客の皆様の安心安全を追求する立場と、さらには、国益を守る国防上の観点から、自衛隊機であろうと民間機であろうと機体トラブルによる滑走路閉鎖の原因究明を明らかにし、過密状況の解消に向けて那覇空港滑走路増設事業の早期完成を強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成29年2月10日

沖縄県 豊見城市議会

あて先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣、防衛大臣、  
沖縄及び北方対策担当大臣、航空自衛隊那覇基地司令